

平成二十七年度

名寄市立大学 保健福祉学部  
一般入試 後期日程

小論文問題

試験時間 一〇時〇〇分～一一時三〇分（九〇分）

\*受験上の注意

- ① 指示があるまで開いてはいけない。
- ② 指示に従つて、静肅に行動すること。
- ③ 机上には、受験票、筆記用具、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡、目薬、ティッシュペーパー以外、不要なものは置かないこと。
- ④ 質問、用便その他、特に必要のある場合は黙つて手を挙げ、指示を求めること。
- ⑤ 不正を行つたものは試験を中止し、以後の受験資格を失うものとする。

次の文を読み、あととの間に答えなさい。

民主主義は、絶えず個人から出発して、社会をより良く変革していくとする積極的な社会人の行動によつて支えられている。

個人から出発して社会に大きな影響を与えた一例として、かなり以前の出来事ではあるが、森永ヒ素ミルク事件をふりかえつてみたい。それは被害を受けた対象が乳児であったこと、人間らしい視点を失わなかつた保健婦たちの行動が、一四年間、闇に葬り去られていた犠牲者の子どもに社会的な光を当て、親の死後も障害を負つた子どもたちが生きていくける社会的救済機関をつくつたという点で、記憶すべき事件だからだ。

力儲けは善であり目的であるという資本主義社会の合意に対し、社会人は、経済的利益を優先して人間社会を軽視する価値観に反対する。社会人が共有する価値観は、憲法に保障された人権ともいえるが、法律を超えたところで人間の生活の中に普遍的に内在する価値観だと言い換えることもできる。私たちは社会的動物として、生きる意味と目的を人間の社会的なつながりの中に見出している。それはやみくもな資本の自己増殖欲よりも、もつと本質的な人類の未来をひらく展望を示しているのではないだろうか。

(中略)

同じような事件は、現在に至るまで他にも数々ある。その場合、「自分が被害者でなくてよかつた」と無関係だったこと喜ぶ人もいるが、同じ人間として、わが身をそこにおいてみて、手を差し伸べずにはいられない人たちも多数いるのだ。

その分かれ目には様々な原因があると思われるが、無関心や非協力の要因のひとつには時間的にも、経済的にも、気持ちの上でも、他人のことを思うゆとりのない人たちの生活環境があるだろう。せっぱ詰まつた生活環境にいるために、逆に政治的なアジェーテーションに乗せられることもしばしばある。だからこそ、「健康にして文化的な」生活保障は大事なのである。

しかし、それだけではないのではないか。「想像力」は人間に固有な属性だと言われる。他者のことを思い、過去や未来に対する想像力を働かせ、国際社会で起こる飢餓や紛争や災害に対して救いの手を差し伸べる人びとが増えることはあっても、なくなることはない。国境なき医師団の身を挺しての活動や、貧困国に学校や病院を建てる運動は、普通の市民の自発的な活動である。見知らぬ人への報いを期待しない、思いである。

水俣病の患者に寄り添つた医師、原田正純さんは、カルテの裏側を読むことができるようになつて、

私ははじめて医師になった、とテレビで語っていた。病気の苦しみの裏側に、家族の苦しみや社会から排除された苦しみ、その後ろに水俣病を引き起した日本の社会構造があり、それらを病状とともに想像することができるようになって、患者の心を本当に理解することができた、ということだろう。人は本心では社会的なつながりの中においていきたいと思い、人の役に立つ意味のある仕事をしたい思い、そこに幸福感を感じてもいる。

(中略)

私が子どものころ、道端に咲く野の花を見て、親が「まあ、なんて可憐な花なんでしょう。どこから飛んできた種のかしら?」と言えば、そのように思えて、いろいろなことを想像した。汗を流して力仕事をしている人を見て「こんな暑い中で『苦労な』という大人の言葉が、また違った人生を想像させた。芸術の世界も言葉を超える想像力の泉だった。おそらく学校教育の中で語られる言葉も、子どもたちの想像力に大きな影響力を持っているにちがいない。いじめが他者に対する想像力の欠如にあることも広く知られている。想像力を育てることに価値を置いていた社会と、自分の利己的な生活にだけ心を占領されている社会とでは、人間の感性と思考に、大きな隔たりが生じるのではないか。

これから地球温暖化や環境の劣化や広い意味の貧困が、世界的に進んでいくと思われる。異文化の民族間の紛争もある。国際的な、あるいは地球的な、想像力のある社会人が必要とされている。

社会的なつながりや支え合う人間関係は数字では表せないが、人間社会の大きな財産である。人間は社会的動物なので、心の底では社会から排除されないつながりの中に生きたいと誰もが思っている。社会は単なる個人の総計ではない。さまざまの人があ会い、影響しあって、計算を超えた影響力をもち、人びとに生きる意味を考えさせる場所である。社会は知識や経験を豊かにするだけでなく、自分自身を知るために必要なのだ。社会人として生きることは自分の可能性を育むだけでなく、社会への信頼感があれば、過剰な自己防衛や闘争心を、創造的なエネルギーに変えることができる。

私たちは社会に対し絶望を感じることもあるが、民主主義社会の持つ弾力性は、個人の働きかけによって理不尽などを社会的な公正に変える力を持つている。仲間とともにいる社会人であることは、有益で楽しい。人間のつながりに価値を置く社会は、ふところ深く、多様で豊かな価値観にあふれているからだ。

(「社会人の生き方」 晉嶺淑子著 岩波新書 二〇一二年 より)

問

「想像力のある社会人」について、あなたが考えること八百字以上千字以内で述べなさい。